

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	図書資料等整備事業			コード	5111	
2 担当部課	部等	教育部	課等	生涯学習課（図書館）	作成者	伊藤 史佳
3 事業概要	目的体系	基本目標	未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち			
		政 策	生涯学習の推進	施 策	生涯学習の推進	
		予算科目	図書資料等整備費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし	
		根拠法令	図書館法（第1条：図書館の設置及び運営について必要な事項を定める）			

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	利用者の求める図書資料、視聴覚資料を整え、その貸出及び資料提供を行う。	
目的	対象者	市民
	意 図	利用者の教養、調査研究、レクリエーションに資すること

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
1. 図書資料等所蔵数	(1) 蔵書数 232,652冊（一般書123,647冊、児童書47,293冊、団体貸出用5,963冊、公民館図書室22,094冊、紙芝居1,263、保育園幼稚園親子文庫 32,392冊） (2) 視聴覚資料 3,297点（DVD 822点、ビデオ 339点、カセット 856点、CD1,280点）	
2. 資料貸出件数	本館：図書 207,409冊、視聴覚資料 6,950点、公民館：図書 18,005冊 保育園幼稚園親子文庫： 47,074冊 合計 279,438件	
3. 図書購入時装備数	4,500冊	
前年度の課題への対応	・デジタルアーカイブ化について、実施可能な新聞社との経費案及びデモンストレーション等により研究し、諏訪地方6市町村館長会への提議案を検討した。	

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)	
① 活動指標（指標名）				単位	冊
実績値	5,236	5,376	5,713		
*指標の説明	図書の新規購入冊数				
② 成果指標（指標名）				単位	件
目標値	290,000	300,000	300,000	300,000	
実績値	293,595	288,609	279,438		
達成度	101.2%	96.2%	93.1%		
*指標の説明	貸出冊数				
*目標値の設定方法の説明	図書及び視聴覚資料等の貸出冊数からニーズを汲み取る。				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	9,753,134	9,588,174	9,664,176	10,109,000
経常経費	9,753,134	9,588,174	9,664,176	10,109,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	5,600,000	5,600,000	5,600,000	5,600,000
正規職員の人数(人)	0.70	0.70	0.70	0.70
③ 合計コスト(①+②)	15,353,134	15,188,174	15,264,176	15,709,000
前年度比		98.9%	100.5%	102.9%
財源	15,353,134	15,188,174	15,264,176	15,709,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	2,932	2,825	2,672	
前年度比		96.3%	94.6%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 96.8%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 93.1%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元新聞については永年保存としているが、保存状態により閲覧が困難なものもある。 ・開架スペースの書架が多く、レンタルショップ型の図書館であるため改善、改修が必要。 ・図書資料用バック（利用者用図書袋）について、マイバックを推奨する観点からバックの貸出を止めているが、持参者が限られており、図書資料の破損に繋がっている。 	
	改善方法	<p>(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部新聞について「デジタルアーカイブ化」（オンラインデータベースサービス）への移行を諏訪地方6市町村館長会議で検討する。 ・開架スペースの書架を減らし、空間を確保することで市民の読書意欲に繋げる図書配置、机、椅子の増などの工夫を施す。 ・オリジナル図書資料用バックの製作・販売に向けた研究。
		改善開始時期

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	--	---